

2011（平成 23）年度事業報告書

2012 年 5 月 25 日

I. 事業の状況

研究成果公開のため、『英文学研究』2冊を予定通り刊行した。巻号および発行日は、和文第 88 巻（2011/12/1）、英文号<2011>（2012/3/1）。総頁数は、和文号 256 頁、英文号 281 頁、計 537 頁(前年度 470 頁)である。また、『英文学研究』（支部統合号）は、全 7 支部の統合的学術雑誌として第 4 号が刊行された。

英文学語学に関する研究を普及する事業として、日本英文学会第 83 回全国大会を、2011 年 5 月 21 日（土）、22 日（日）の両日、北九州市立大学北方キャンパスで行なった。研究発表 38、シンポジア 12 部門、特別シンポジウム「近代小説は死んだのか？—小説の過去・現在・未来」が行なわれた。また、この大会における研究発表、シンポジア、特別シンポジウムの概要を収めた『第 83 回大会 Proceedings』を 2011 年 9 月 15 日に刊行した。総頁数は 253 頁（前年度 202 頁）である。なお、今号より、『大会 Proceedings』の巻末に支部大会プロシーディングズも同時掲載することとした。また、同時期に、各支部の大会情報をまとめて掲載した『支部大会資料統合版』を初めて刊行した（ただし、関西支部は定期的にプログラムを掲載することが難しいので基本情報のみの掲載となった）。

全国大会以外の講演会研究発表会として、2011 年 4 月 24 日（土）にシェイクスピア祭を、聖心女子大学（宮代ホール）にて、日本シェイクスピア協会との共催で開催した。その他、各支部においても大会が開催された。

これらの案内と報告のため、本部および各支部は Newsletter を年 2 回、発行した。

II. 処務の概要

1. 役員などに関する事項

2011（平成 23）年度末現在

役名	氏名	就任年月日	担当職務	手当	現職	備考
会長	丹治 愛	平成 21 年 4 月 1 日	-	なし	東京大学教授	-
理事	竹本幸博	平成 21 年 4 月 1 日	-	なし	北海道大学教授	-
同	大河内昌	平成 23 年 4 月 1 日	-	なし	東北大学教授	-
同	丹治 愛	平成 19 年 4 月 1 日	-	なし	東京大学教授	-
同	滝川 睦	平成 23 年 4 月 1 日	-	なし	名古屋大学教授	-
同	佐々木徹	平成 23 年 4 月 1 日	-	なし	京都大学教授	-
同	地村彰之	平成 21 年 4 月 1 日	-	なし	広島大学教授	-

同	大田一昭	平成 23 年 4 月 1 日	-	なし	九州大学教授	-
監事	巽 孝之	平成 23 年 4 月 1 日	-	なし	慶應義塾大学教授	-
同	木下善貞	平成 23 年 4 月 1 日	-	なし	北九州市立大学教授	-

2. 事務局員に関する事項

2011（平成 23）年度末現在

役名	氏名	就任年月日	担当職務	手当	備考
事務局長	向井 秀忠	平成 23 年 4 月 1 日	-	給与	-
事務局長補佐	後藤 和彦	平成 23 年 4 月 1 日	経理	給与	-
大会準備担当書記	高桑 晴子	平成 23 年 9 月 1 日	大会準備	給与	-
編集担当書記	中村 祐子	平成 23 年 4 月 1 日	編集	給与	-

3. 役員会等に関する事項

(1) 理事会

開会月日	議事事項	会議の結果
平成 23 年 4 月 1 日	1. 会長の選出	承認
	2. その他 (1) 次回理事会の日程について	承認
平成 23 年 5 月 20 日	1. 2010 年度事業報告	承認
	2. 2010 年度編集委員会報告	承認
	3. 2010 年度大会準備委員会報告	承認
	4. 2010 年度決算報告	承認
	5. 2011 年度事業計画書（報告）	
	6. 2011 年度予算書（報告）	
	7. 第 84 回大会の会場変更について	承認
	8. その他	承認
	(1) 定款変更の案について	承認
	(2) 定款変更に伴う理事の扱いについて	承認
(3) 定款変更に伴う最初の評議員の選任方法について	承認	
(4) 最初の評議員の選定委員会委員について	承認	
(5) 最初の評議員の選出について	承認	

	(6) 定款変更に伴う最初の会長の選出について (7) 一般財団法人化以後の定款について (8) 一般財団法人化に向けての支出計画について	承認
平成 23 年 10 月 17 日	1. 一般財団法人移行のための定款変更案について	承認
平成 24 年 3 月 17 日	1. 2011 年度事業報告書（報告）	承認
	2. 2012 年度予算	
	3. 次年度事務局体制（報告）	
	4. その他	
	(1) 学生会費本部会費分値下げについて	承認
	(2) 終身会員規程	承認
	(3) 海外研究者招聘後援事業申請について	承認
	(4) 大会準備委員会の公開性等について	承認
	(5) 編集委員会の公開性等について	承認
	(6) 理事会の公開性等について	承認
(7) 事務所の引越しについて	承認	
(8) 全国大会期間中の託児室開設制度案について	承認	
(9) 支部の連合体制における学会運営方針について	承認	
(10) 今後の会長の選出方法について	継続審議	

(2) 評議員会

開会月日	議事事項	会議の結果
平成 23 年 4 月 1 日	1. 理事・監事の選出 2. 2011 年度事業計画書（報告） 3. 2011 年度収支予算書（報告）	
平成 23 年 5 月 20 日	1. 2010 年度事業報告	承認
	2. 2010 年度編集委員会報告	承認
	3. 2010 年度大会準備委員会報告	承認
	4. 2010 年度決算報告	承認
	5. 第 84 回大会の会場変更について	承認
	6. その他	
	(1) 支部大会プログラムとプロシーディングズの統合	承認
	(2) 今後の研究補助制度について	承認
(3) 今後の大会開催の順番について	承認	
(4) 託児施設設置の検討開始について	承認	

会費過支払い分	Susan Miller	2,000 円	2,000 円	-
---------	--------------	---------	---------	---

7. 主務官庁指示に関する事項

指示年月日	指示事項	履行状況
平成 23 年 12 月 21 日	平成 23 年度特例民法法人概況調査	概況調査報告書提出(平成 23 年 1 月 13 日)

8. その他重要事項

特になし

9. 会員数 (2010 年 3 月末現在)

個人会員	3,506 名 (前年度末 3,259 名)	247 名増
協賛会員	42 名 (前年度末 44 名)	2 名減
総計	3,548 名 (前年度末 3,303 名)	245 名増

2011年度編集委員会活動報告

2012. 5. 10.

(1) 委員会開催日

通常委員会：2011年5月20日、6月11日、10月16日。

新人賞第二次審査のための小委員会：7月16日。

(2) 人事

1. 新井潤美、石塚久郎、齋藤 一、水野眞理（イギリス文学分野）、飯野友幸、花岡 秀（アメリカ文学分野）、家入葉子、岡崎正男、縄田裕幸（英語学分野）以上9名の委員は、2012年3月末日をもってすべての任期が満了となった。後任9名の新委員を選出するため、第3回編集委員会にて選挙を行い、就任の依頼をおこなった。その結果、鈴木英明、竹村はるみ、橋本順光、藤巻 明（イギリス文学）、上西哲雄、堀内正規（アメリカ文学）、谷明信、柳 朋宏、山田英二（英語学）の9名の承諾を得た。新委員の任期は2011年4月1日より3年間（敬称略）。

2. 2012年度 委員長：小川芳樹（英語学分野）

副委員長：井出 新（イギリス文学分野）、辻本庸子（アメリカ文学分野）

(3) 『英文学研究』発行状況

第88巻 (2011年12月1日発行) 256ページ

英文号53(2012) (2012年3月1日発行) 281ページ

総ページ数 537ページ

(前年度470ページ、前々年度393ページ)

なお、『英文学研究』EN53(2012)には、平成23年度科学研究費補助金700,000円が支給された（申請時の予定ページ数は300ページ）。

(4) 2011年度『英文学研究』論文審査の状況（2010年10月15日～2011年10月14日受理分）

	投稿論文数	採用	不採用	審査中
英文学	31(20-11)	5(3-2)	26(17-9)	0(0-0)
米文学	11(3-8)	3(1-2)	8(2-6)	0(0-0)

英/米文学	1(0-1)	0(0-0)	1(0-1)	0(0-0)
英語学	1(1-0)	1(1-0)	0(0-0)	0(0-0)
英語教育	1(1-0)	0(0-0)	1(1-0)	0(0-0)
計	45(25-20)	9(5-4)	36(20-16)	0(0-0)
和文の割合	56%	56%		

カッコは和文—英文比

(参考)

2010年度『英文学研究』論文審査の状況(2010年10月15日～2011年10月14日受理分)

	投稿論文数	採用	不採用	審査中
英文学	23(11-12)	3(1-2)	20(10-10)	0(0-0)
米文学	12(6-6)	1(0-1)	11(6-5)	0(0-0)
英語学	2(0-2)	2(0-2)	0(0-0)	0(0-0)
計	37(17-20)	6(1-5)	31(16-15)	0(0-0)
和文の割合	46%	17%		

カッコは和文—英文比

2009年度『英文学研究』論文審査の状況(2008年10月15日～2009年10月14日受理分)

	投稿論文数	採用	不採用	審査中
英文学	29(13-16)	3(1-2)	26(12-14)	0(0-0)
米文学	7(0-7)	2(0-2)	5(0-5)	0(0-0)
英語学	1(0-1)	0(0-0)	1(0-1)	0(0-0)
計	37(13-24)	5(1-4)	32(12-20)	0(0-0)
和文の割合	35%	20%		

カッコは和文—英文比

2008年度『英文学研究』論文審査の状況(2007年10月15日～2008年10月14日受理分)

	投稿論文数	採用	不採用	審査中
英文学	27(15-12)	6(4-2)	21(11-10)	0(0-0)
米文学	16(8-8)	8(4-4)	8(4-4)	0(0-0)
英語学	5(4-1)	1(0-1)	4(4-0)	0(0-0)
計	48(27-21)	15(8-7)	33(19-14)	0(0-0)

和文の割合	56%	53%		
-------	-----	-----	--	--

カッコは和文—英文比

(5) 第34回日本英文学会新人賞の審査結果

応募論文総数：英文学 4編 米文学 1編 英語学 0編 計 5編

(前年度比 6編減)

第1次審査通過論文数：1編

(前年度比 1編増)

受賞論文：該当論文なし

佳作論文：1編

(6) 2011年度『英文学研究』書評掲載状況

	寄稿書評数	採用	不採用	審査中
英文学	19(12-7)	19(12-7)	0-0	0(0-0)
米文学	10(8-2)	10(8-2)	0-0	0(0-0)
英/米文学	1(1-0)	1(1-0)	0-0	0(0-0)
英語学	19(5-14)	19(5-14)	0-0	0(0-0)
計	49(26-23)	49(26-23)	0-0	0(0-0)
和文執筆の割合	52% (27/52)	52%(27/52)		
和文号書評に占める 英文書評の割合	12% (3/26)	12% (3/26)		

カッコ内は和文号—英文号比

2011 年度大会準備委員会報告

2012 年 5 月 25 日

1. 2011 年 5 月 21 日(土) 第 83 回大会第 1 日目

委員会 [於 北九州市立大学北方キャンパス 本館 2 階 B202 教室 (大会本部)]

1) 大会運営の事務打ち合わせ

2) 辞任委員および任期満了委員の後任選挙

英文学分野 (遠藤不比人氏の後任) 中井亜佐子氏 (一橋大学) *

英文学分野 (唐澤一友氏の後任) 浅川順子氏 (慶應義塾大学)

英文学分野 (箭川修氏の後任) 桂山康司氏 (京都大学)

米文学分野 (大島由紀子氏の後任) 城戸光世氏 (広島大学)

英語学分野 (遠藤喜雄氏の後任) 島田雅晴氏 (筑波大学)

英語学分野 (藤井香子氏の後任) 石黒太郎氏 (明治大学) 辞退

*中井氏の任期は残任期間の 2012 年 5 月 27 日までで 1 年未満となるため、「内規」7. に従い、中井委員は後任選挙において再選の可能性を有することが確認された。

2. 2011 年 5 月 22 日 (日) 第 83 回大会第 2 日目

委員会 [於 北九州市立大学北方キャンパス 本館 2 階 B202 教室 (大会本部)]

1) 大会運営の事務打ち合わせ

3. 2010 年 6 月 19 日(日)

委員会 [於 駒澤大学深沢キャンパス深沢校舎 2-1]

1) 第 83 回大会の総括

2) 委員長交代 箭川修 (旧委員長) → 大河内昌 (新委員長)

(以後 新委員会)

3) 副委員長選挙 由井哲也委員を副委員長に選出

4) 第 84 回大会の準備、シンポジウム企画、招待発表、特別シンポジウムについての検討

5) その他

4. 2011 年 7 月

着任を辞退した石黒太郎委員の後任選挙を郵送により行い、井口篤氏 (放送大学) が選出された。

5. 2011 年 9 月中旬まで

委員間のメールによる審議で、シンポジウム、招待発表者を確定

7. 2011年11月26日(土)

委員会 [於 東京大学駒場キャンパス 18号館 4階コラボレーションルーム 2]

●第1議題：第84回全国大会について

- 1) 新委員の紹介
- 2) 9月のメールによる審議にて決定したシンポジア、招待発表者の確認
- 3) 第84回全国大会研究発表応募論文の審査と審議
- 4) 研究発表の組み合わせと司会者、担当委員の審議
- 5) 部屋割りについて
- 6) その他

●第2議題：大会準備委員会の運営について

- 1) シンポジアの部門の数と分け方・企画立案方針について審議
- 2) 大会準備委員の分野別の配置と選出方法について審議
- 3) ワークショップ制度の新設について審議

なお、第2議題には理事会から丹治愛会長、佐々木徹副会長、評議員会から高橋和久評議員、原英一評議員、加藤光也評議員が陪席

* 過去5年間の研究発表応募採択状況

(複数人による共同発表者は1名と計算。2008年以降のカッコ内の数字は招待発表を合わせたもの。2009以降はカリブ海文学、カナダ文学、アイルランド・日本の比較文学についての研究発表の応募を広域英語圏文学として分類した。)

採択数/応募数

	2012	2011	2010	2009	2008
英文学	18(23)/32(37) [中世 2(3)/2(3)]	18(22)/27(31) [中世 2(3)/2(3)]	22(26)/38(42) [中世 3(4)/3(4)]	31(36)/52 (57) [中世 2(3)名]	29(33)/40(44) (中世 1名)
米文学	3(4)/5(6)	5(6)/6(7)	10(11)/16(17)	5(6)/8 (9)	8(9)/19(20)
広域英語圏 文学	0/0	0/1	4/7	1/3	
英語学	6(7)/10(11) (Philology3名)	3(5)/8(10) (Philology2名)	4(6)/10(12) (Philology0名)	5(7)/7(9) (Philology1名)	4(7)/7(9) (Philology1名)
英語教育	3(4)/4(5)	3(4)/3(4)	2/5	2(3)/4(5)	1(2)/1(2)
計	30(38)/51(59)	29(37)/45(53)	42(49)/76(83)	44(53)/74(83)	42(50)/67(75)

* 大会準備委員（五十音順）

秋 孝道	浅川順子	井口篤	大河内昌
大沢ふよう	奥聡一郎	桂山康司	城戸光世
島田雅晴	武田将明	富山英俊	中井亜佐子
西山 徹	新田啓子	松本靖彦	由井哲哉

* 開催校委員（五十音順）

石塚久郎	小山太一	坂野明子	末廣幹
高桑晴子	道家英徳	並木信明	桃尾美佳

* 支部委員（関東支部）

北村一真（杏林大学）	谷みゆき（中央大学）
------------	------------